

常任委員会活動の評価について

1 チェックシートによる評価

3月7日（月） 予算決算常任委員会理事会

3月8日（火） 常任委員会（戦略企画雇用経済、環境生活農林水産、健康福祉病院）

3月9日（水） 常任委員会（総務地域連携、防災県土整備企業、教育警察）

- (1) チェックシートの項目を参考に、1年間の委員会活動を振り返り、良かった点、改善すべき点等を協議する。
- (2) 正副委員長、委員（理事）がそれぞれチェックシートに評点等を記載して提出する。

2 委員会活動評価総括表（案）について協議

3月10日（木） 常任委員会（戦略企画雇用経済、環境生活農林水産、健康福祉病院）

3月14日（月） 常任委員会（総務地域連携、防災県土整備企業、教育警察）

3月17日（木） 予算決算常任委員会理事会

1での議論とチェックシートによる評価結果を踏まえて作成する「委員会活動評価総括表（案）」について協議し、決定する。

3 委員長会議での報告

3月22日（火） 委員長会議

委員長から、「委員会活動評価総括表」により、1年間の委員会活動の評価を報告する。

※委員長会議開催後に常任委員会を開催した場合には、「委員会活動評価総括表」への補足の有無・内容について、当該委員会（理事会）において協議し、補足後の「委員会活動評価総括表」を委員長から議長に提出する。

4 次期委員会への引継ぎ

5月16日（月） 委員長会議（予定）

議長から、次期委員長に、前期の委員会活動の評価を引き継ぐ。

チェックシート

資料 2

議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与できたかという観点から評価を行うためのチェック項目をまとめました。

これまでの委員会活動を振り返り、評価の視点を参考にして、委員（理事）の皆さんで自己評価を行っていただき、5段階評価をしてください。（但し、例えば「公聴会」を開催しなかった時などは、該当なしとして当該項目の評価欄は「－」をつけてください。）

委員会名（ ）

項目	評価の視点	評価
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) { }	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) { }	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) { }	
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) { }	
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) { }	

項目	評価の視点	評価
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来ましたか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来ましたか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	

※評価は各項目毎に行い、5点満点とします。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかった)
 但し、該当項目がない場合は評価を行いません。

～ ありがとうございました。～

() 委員会活動評価総括表

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) { }	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) { }	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) { }	
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) { }	
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) { }	

項目	評価の視点	平均点
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来ましたか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来ましたか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

総務地域連携常任委員会 活動計画（実績）書（平成27年5月～平成28年5月）

平成28年3月9日現在

1 所管調査事項

- ・行財政の運営について
- ・地域振興の推進について
- ・スポーツの振興について
- ・県南部地域の活性化について

2 重点調査項目

- (1) コンプライアンスの推進について
- (2) スポーツの推進・競技力の向上について
- (3) 南部地域の活性化について
- (4) 交通政策について

3 活動計画表

重点調査項目	平成27年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) コンプライアンスの推進について (2) スポーツの推進・競技力の向上について (3) 南部地域の活性化について (4) 交通政策について	予決分科会 専決処分の承認 (5/13) 常任委員会 所管事項説明 (5/27)	常任委員会 議案、所管事項の調査等 予決分科会 補正予算等 (6/19, 23)	県内調査 (7/24)	県内調査 (8/4)	県外調査 (9/2～4)	常任委員会 議案、所管事項の調査等 予決分科会 補正予算等 (10/6, 8)	予決分科会 平成26年度歳入歳出決算、所管事項の調査等 (当初予算編成に向けての基本的な考え方) (11/5) 予決分科会 補正予算 (11/27)	常任委員会 議案、所管事項の調査等 予決分科会 補正予算等 (12/10, 14)		予決分科会 補正予算等 (2/25)	常任委員会 議案、所管事項の調査等 予決分科会 当初予算、補正予算等 (3/9, 14, 31)		
執行部の主な予定		・成果レポート (案)			・三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略 (最終案) ・みえ県民力ビジョン・行動計画 (中間案) ・次期の行財政改革 (素案)	・企業会計決算 ・平成28年度経営方針 (案) ・一般会計、特別会計決算	・当初予算の考え方	・当初予算要求状況 ・みえ県民力ビジョン・行動計画 (最終案) ・第二次三重県行財政改革取組 (仮称)《中間案》 ・第76回国民体育大会開催基本構想 (中間案)	・第76回国民体育大会開催基本構想	・当初予算案 ・第二次三重県行財政改革取組《最終案》	・平成28年度経営方針 ・第二次三重県行財政改革取組 ・三重県過疎地域自立促進計画 ・紀伊地域半島振興計画		

4 県内外調査について

(1) 県内調査

7月24日 (日帰り)

地域資源を活かした地域づくりの取組 (島の旅社推進協議会) のほか、生活弱者に対する生活交通対策の取組 (松阪市) などについて調査を行いました。

8月4日 (日帰り)

スポーツを通じた地域活性化の取組 (紀北町) のほか、都市地域から過疎地域等への定住・定着の取組 (尾鷲市) などについて調査を行いました。

(2) 県外調査

9月2日～4日 (2泊3日)

職員の不祥事防止に向けた取組 (千葉県) をはじめ、スポーツを通じた地域活性化の取組 (十日町市・十日町市スポーツコミッション) や過疎地域の自立活性化の取組 (株式会社あいポート仙田)、更には、第73回国民体育大会の開催に向けた取組状況 (福井県) などについて調査を行いました。

平成27年度の主な議会の取り組み（参考）

1 議員勉強会の開催

- ・第1回 「人口減少社会の移住・定住促進～地域における魅力ある生き方『半農半X』～」
塩見直紀 氏（半農半X研究所代表）
- ・第2回 「多様化する広報媒体と、その特徴を活かした効果的な広報」
北村啓司 氏（株式会社CAP プロデューサー）
- ・第3回 「地方創生と三重大学の役割」
駒田美弘 氏（三重大学学長）

2 みえ現場 de 県議会の開催

- ・第1回 「若者の声を県政に～地方創生と人口減少対策～」
- ・第2回 「鳥獣害に強い地域づくり」

3 人口減少対策調査特別委員会の設置

4 地方創生に関する政策討論会議の設置

5 三重県手話言語に関する条例検討会の設置

6 「成果レポート」に基づく今後の県政運営等に関する知事への申し入れ

7 「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案などに関する知事への申し入れ

8 公共政策大学院からのインターンシップ実習生の受入れ